

YIA Newsletter

Spring
2025

TAKE FREE

公益財団法人 山梨県国際交流協会

2024 多文化交流ひろば

IN 甲府
えびす講
祭り

外国人住民
日本語スピーチコンテスト

2024多文化交流ひろば IN 甲府えびす講祭り

令和6年11月23日(土・勤労感謝の日)、舞鶴城公園南広場(芝生広場)と山梨県庁(噴水広場)を会場に「2024多文化交流ひろば IN 第90回甲府えびす講祭り」を開催しました。外国人住民の方に甲府えびす講祭りのおみこしと一緒に担いでもらうとともに、芝生広場では、たくさんの方に国際色豊かな歌や踊りなどのパフォーマンスや多国籍のキッチンカー・売店を楽しみながら交流を深めてもらいました。

この多文化交流ひろばは、「日本人と外国人との多文化交流」を目的としたイベントで今回が2回目になります。県内に住む外国人の数は年々増え続けていて、すでに2万人をこえています。山梨県民の40人にひとりとは外国人という計算になります。これだけたくさんの外国人住民の方がいながら、普段から外国人住民の方と触れ合ったり、一緒に活動したりしている地域住民の方はそれほど多くないのではないのでしょうか。そこで、こうしたイベントをきっかけに、山梨にもこんなにもたくさんの国にルーツを持つ様々な外国人住民の方が暮らしていることに改めて気づいてもらい、互いに知り合い、気軽に声をかけたり、話をしたりする関係につなげていきたいということで開催しています。

おみこしは、出発式、記念撮影の後、威勢の良い掛け声とともにスタートしました。いなせな担ぎ手の皆さんと一緒に13カ国、25人の在住外国人の方がおみこしを担ぎ噴水広場をぐるりと回って、県議会議事堂の前を通過して平和通りへと出ていきました。

舞鶴城公園の芝生広場では、特設ステージで琉球國祭り太鼓を皮切りに、山梨台湾総会による山岳民族の踊り、ラボ国際交流センターの子どもたちの歌、アフリカンジャンベ、山梨学院大学ダンス部によるダンスパフォーマンス、山梨大学の留学生によるバンブーダンス、外国人日本語スピーチコンテストをはさんで、志衛塾による空手演武、カガエイラ、ラテンダンスと続き、最後は、よさこい舞羽のよさこいソーランで締めくくってもらいました。



めくくってもらいました。

芝生広場を取り囲むように11台の多国籍キッチンカーと4つの売店に出店してもらい、来場者の方に特設ステージでのパフォーマンスを見ながら、様々な国の料理や買い物を楽しんでもらいました。

こうした機会をとおして互いに知り合い、日ごろから交流を深めて、同じ地域に住むもの同士、協力したり、助け合ったりしながら、住みよい地域にしていけるといいですね。



外国人住民日本語スピーチコンテスト

「2024 多文化交流ひろば IN 第90回甲府えびす講祭り」の芝生広場特設ステージでは、今回初の試みとして外国人住民日本語スピーチコンテストを開催しました。

このコンテストは、外国人住民に県民の一人として地域に根付いた祭りに参加して地域住民と交流を深めてもらうとともに、地域住民の皆さんには、外国人住民が日頃感じている様々な思いを聞くことで多文化共生を感じとってもらうことを期待して開催いたしました。

コンテストには、8ヶ国・地域にルーツを持つ外国人住民10人が参加しました。来日して驚いたこと、大変だったこと、日本語を覚えるのに苦労したこと、家族の大切さ、読書の楽しさ、山梨の魅力など、それぞれ独自の視点から自分の言葉で堂々と発表していました。

審査の結果、最優秀賞には、「来日したばかりのころは日本語があまりできなくて苦労したが、今は温泉旅館での接客の仕事とフリーランスでの3Dデザインの仕事を幸せを感じながらできている、これからもスキルを磨いて皆さんの役に立つ仕事をしていきたい」とのスピーチをまったく原稿を見ずに観客に語り掛けるように発表した、台湾出身の孫小芳さんが選ばれました。

優秀賞には、「15歳で来日したとき、日本ではいつも周りの人に敬意を払うことに驚いたこと、でも敬語の使い分けはとても難しかったことなど自分の経験を踏まえて、日本の皆さんには、日本の言葉や制度が理解できない外国人には優しく接してほしい、一方、外国人の皆さんには、日本で暮らす上で、日本語を積極的に勉強して、礼儀正しく謙虚でいてほしい」との呼びかけを元気よく行った、ペルー出身の藤本乃理子さんが選ばれました。

第3位には、「誰かが笑うと、もう一人も必ず笑う」という自国のことわざを紹介しながら、まずは自分を受け入れて自分を愛し、幸せのエネルギーを周りの人に広げましようと呼びかけ、最後は「Heal the World」の歌で締めくくった、タイ出身の山田ノラコンさんが選ばれました。

このほか、特別賞(岡島賞)には、民族衣装で登壇したミャンマー出身のソー・イエッテさん、特別賞(甲府商工会議所賞)には、ものづくり企業で工場長を務めるブラジル出身のコダマ・イサムフェルナンドさんが選ばれました。

聴衆の方からは、「外国の方が一生懸命日本語でスピーチする姿に感動した」「山梨のことが好きだと言われてうれしかった」「皆さん日本語がきれいでびっくりした」などといった感想が寄せられました。



地域異文化ふれあい広場

国際交流協会では、今年度の新規事業として、外国人住民と地域住民と一緒に異文化にふれあいながら、お互いの文化に対する理解を深めるために、「地域異文化ふれあい広場」を開催しています。これまでの実施状況は次のとおりとなっています。

- 1 ボリショイ劇場バックステージツアー (5月19日)
- 2 リズムエクササイズ (6月16日)
- 3 山梨学院幼稚園・留学生交流イベント (7月11日)
- 4 The Jewel of Southeast Asia, Rich History & Diversity of Culture (7月27日)
- 5 パレエ ストレッチ (8月18日)
- 6 都留異文化ふれあい広場 (9月23日)
- 7 Pearl of the Orient Seas -Philippines Culture & Tinikling Dance- (10月19日)
- 8 よさこい体験会 (12月17日)

この中から7つめの“Pearl of the Orient Seas -Philippines Culture & Tinikling Dance-”の様子をご紹介します。

フィリピンの英語教師で、今は山梨大学に留学中のマリベル・ダラダーさんを講師に迎え、前半はフィリピンの言葉や文化、地理、衣装、料理などについてスライドを使いながら説明してもらい、後半では、フィリピンに古くから伝わるTinikling Dance (バンブーダンス) を実演してもらった後、参加者全員で体験してみました。簡単そうに見えたダンスも、実際に踊ってみると竹の動きに惑わされて足を挟まれる人もいましたが、皆さん笑顔で楽しんでいました。



やまなし国際交流・多文化共生団体連絡会 情報交換会

国際交流協会では、1999年から県内の国際交流・国際協力関係団体のネットワーク組織として「やまなし国際交流・多文化共生ネットワーク (YIN)」の運営を行ってきました。しかし、近年、外国人住民の増加に伴い、多文化共生の社会づくりの重要性がより一層高まってきており、当協会も2023年4月に山梨県立国際交流・多文化共生センターに移転し、これまで以上に多文化共生の社会づくりに力を入れて取り組んでいくことになりました。これらを受け、YINを発展的に解消し、国際交流・国際協力に加え多文化共生に関連する団体にも呼び掛け、緩やかな連携の場となる「やまなし国際交流・多文化共生団体連絡会」を昨年3月に立ち上げました。

この連絡会の主な活動の一つである、加入団体が一堂に会する情報交換会を1月25日(土)にぴゅあ総合において開催し16団体

が参加しました。NPO法人Adovo、法テラス山梨、(一社)ダイバーシティネットワーク VENTOSから活動紹介をしてもらい、その後、質疑応答・意見交換を行いました。意見交換では、日本語指導が必要な外国人児童生徒に対してどのような支援ができるか考えていく必要があるといった意見が出されました。

連絡会への加入については、当協会事務局までお問い合わせください。



現場レポート 地域に根差した日本語教室 一 笛吹市日本語教室 一

笛吹市は山梨県地域日本語教育推進事業を活用し令和2年度から日本語教室を開催しています。令和6年度教室は9月から1月まで、日曜日午前10時に笛吹市役所内で開催され、9つの国と地域から来た外国人住民と笛吹市に住む住民ボランティア、合わせて約40名が参加しました。

本年度の教室は、山梨県で開発を進めている「生活に関する日本語教育プログラム」を初めて活用しました。近所の店や地域行事を知る、交通機関を利用して移動する、病院で受診する等、生活に即した14のテーマでコミュニケーション活動をしました。教室は国籍や年齢、日本語力に関係なく「人と人」が知り合い、考えや気持ちを伝え合える場所にもなっています。参加者からは「毎回のテーマが楽しみ。もっとたくさんの日本語を知って話してみたい。」「自分が思っていることや文化がシェアできるのもうれしい。」という声が聞こえました。

山梨に住む外国人住民の数は増え続けています。日本語教室を通じて社会とのつながりを実感し、外国から来た自分だからこそ

何ができるかを模索し始めている参加者もいます。笛吹市日本語教室は、「人と人」、「人と地域社会」が結びつく拠点として、さらなる可能性を広げていきます。



「防災」をテーマにした回では身近にある物でトイレをつくりました。背景や経験が多様であればあるほど豊かな発想が生まれていきます。

男女共同×多文化共生 ぴゅあフェスティバル2024

山梨発シンガーソングライターの岩崎けんいちさんをMCにお迎えし、朝10時から午後3時まで、ほぼノンストップの「Music&パフォーマンス」となりました。

屋外キッチンカーやロビーでは、ブラジル、タイ、インドなど各国料理やスイーツが並び、「ぴゅあマルシェ」会場では、フェアトレードや雑貨の販売とともにさまざまなワークショップなども行われ、大変にぎわいました。

令和5年4月に県立国際交流・多文化共生センターとして、県立男女共同参画推進センター（ぴゅあ総合）に複合化となつてから、今回が2回目の合同フェスティバルとなりましたが、性別や世代、国籍や文化を超えて、多くの方々にご参加いただきましたことに感謝しています。

これからも、県立国際交流・多文化共生センターは、多様な人たちが集える拠点を目指していきます。



災害時外国人支援セミナー

令和6年10月27（日）ぴゅあ総合（甲府市朝気）で「災害時外国人支援セミナー」を開催し、県や市の担当者やボランティア、外国人住民の皆さん35人が参加しました。

NPO多文化共生マネージャー全国協議会副代表理事の高木和彦さんに「災害時における外国人支援とやさしい日本語」についてご講義いただき、同理事の高橋伸行さんからは、災害多言語支援センター設置に向けて、具体的な支援や運営についてご指導いただきました。

さまざまな背景や国籍を持つ外国人住民の皆さんとの共生社会において、お互いが安心して暮らせるように、そして外国人観光客のみなさんにも安心して山梨を訪れてもらうためにも、災害時における命や生活に関わる情報の迅速な共有は、最も大切なことのひとつです。そしてそのスムーズな支援には、行政や関係機関、ボランティアの皆さんとの日頃からの情報共有や連携が重要です。



外国人住民のための防災教室

外国人住民のみなさんを対象に各市や企業等と協力し「防災教室」を実施しています。

災害が多い日本でもともに生活するうえで、防災の基本的な知識や災害への備えについて知ることはとても重要です。



- 特別養護老人ホーム明山荘（令和6年8月8日）
対象：インドネシア、ベトナム、ネパール出身の外国籍職員の皆さん
- ユニタス日本語学校（令和6年10月8日）
対象：留学生の皆さん
- 富士河口湖町日本語教室（令和7年1月15日）
対象：ネパール、ベトナム、ブラジル等出身の学習者の皆さん

新しい団体の紹介「中国残留孤児等・つなぐ会」会長 西野美鈴さん

今年の3月に、中国残留邦人（残留孤児）や、その二世、または日本人と結婚した中国出身の方々を対象に「中国残留孤児等・つなぐ会」を立ち上げました。

南アルプス市福祉保健部総合相談課の支援員として、市内の中国残留邦人への生活支援を行うなかで、皆が歳を重ねながらもお互いが元気で自立した生活を送っていくためには、月に1度集まるなどしながら、ゆったりしたつながりを作ることがとても大切だと、長年感じていたからです。

いま、多くの二世たちは60歳を過ぎました。これまで日々仕事に追われ、何十年も日本に住みながら日本語を話せない人も多いので、今後の生活のためにも、改めて日常生活に必要な日本語の学習や情報交換をしていきたいと考えています。月に一度集まって雑談したり軽い運動をしたりと、皆で楽しみながら同じ中国人同士で支えあうことが一番の目的です。

また、南アルプス市の「協働支援テーマ型活動助成事業」を活用して、日本の皆さんに中国の家庭料理を教える料理教室も始めました。会員がそれぞれの得意分野を活かしながら交流できることは、彼らの自信にもつながっていくはずですよ。

私自身は、夫の母親が中国残留邦人だったことから、1985年日本

に帰国した義母の生活を支えるため、27歳の結婚2年目の時に二世の夫とともに来日しました。重慶の都市部で生まれ育った私にとり、窓を開けると山々が見える山梨の生活は、新鮮と同時に不安も大きかったことを思い出します。私も日本語が全くわからずに来日しました。周囲に助けられながら子育てをし、販売員などの仕事を通じて日本語を学んできたので、彼らの苦勞がわかります。その私も、20年前からは教育委員会の依頼により、南アルプス市の生涯学習センターで中国語講座の講師をスタートし、現在では、市役所や体育協会、南アルプス市国際交流協会でも働いています。

「中国残留孤児等・つなぐ会」は現在、会員31人です。会を立ち上げてお互いにつながってみると、改めて同じ工場働いていることがわかったり、団地が同じだったり、などということもありました。これまでの経験を共有するなかでお互いに支え合いながらも、地域のみなさんとも、もっと交流ができたと思っています。

皆さまもぜひ、中国家庭料理の教室などにご参加ください。お待ちしております。



西野美鈴さん

広告募集中！

掲載を希望される方はこちらまで

(公財) 山梨県国際交流協会

☎ 055-228-5419

✉ webmaster@yia.or.jp

政府直接派遣

30年にわたる経歴
6万8,000名以上の
受入実績
<https://imm.or.jp>



Imm-Japan

技能実習も！特定技能も！
お任せください！

公財 国際人材育成機構 長野支局

〒390-0851 長野県松本市島内3505インペリアルプラザ松島2階 TEL 0263-48-3731



JICA 通信

世界で活躍している山梨県民 from ウガンダ



布製ナプキンの縫い方を教えている様子



布製ナプキン作成をする児童の様子
(左:女子児童、右:男子児童)



普段良く食べる、炭火焼とうもろこしとビール



学期末最後のレクチャーにて、完成した布製ナプキンをみせる参加児童たち



活動をしている公立小学校の校舎とグラウンド

こんにちは。東アフリカのウガンダで活動している亀ヶ川愛と申します。私は現地 NGO とともに、エイズやマラリア等の感染症の予防啓発や、小学校で「月経管理の指導」「布製ナプキンの作り方を教える活動」等を行っています。

小学校での活動は学校側と話し合い、敢えて男女一緒に参加してもらっているのですが、男子児童の前向きな参加態度によく驚かされています。月経の話題に関して男子児童は恥ずかしがったり、ふざけてしまったりするのではないかと懸念していたのですが、取り組みを始めてみると「自分の姉・妹のことを理解してあげるのは大切だと思う。家族に布製ナプキンをあげたい。」と自ら手を挙げて参加してくれる男子児童が多かったです。

布製ナプキン作りでは、女子児童には完成したナプキンを持ち帰って使うことにしているのですが、男子児童には「持ち帰る」か、「学校に寄贈(保健担当の先生に託し、必要な女子児童に配ってもらう)」かのどちらかを選んでもらうことに

していました。1年間活動をした結果、参加した全ての男子児童が「家に持ち帰る」ことを選択しました。

また、今学期最後のレクチャーで、ある男子児童が「余っている布を貰えないか?家で、叔母や姉にも作り方を教えたい」と最後に質問に来てくれました。児童自身からこのような声が挙ったことが大変嬉しかったです。

私は活動期間が決まっている為、「任期が終わるまでにここまで活動を進めたい」という自分の時間軸で設定した目標に対し経過が遅くて焦ってしまったり、関係者に対しイライラしてしまったりもします。しかしそんな時には、取り組みを始めた一番初めの理由を思い出し、「まずは今、目の前にいるこの子が生理用品を手にし、月経期間も授業を受けられるようにするんだ」という原点への回帰と、今学期末の出来事のような児童からの嬉しい発言を思い出して、地道にコツコツ取り組みを重ねていきたいと思っています。

JICA 海外協力隊 2025年春募集が始まります!

募集期間: 2025年3月21日(金)~2025年5月9日(金) 正午締切
問合せ先: JICA山梨デスク 国際協力推進員 宮本((公財)山梨県国際交流協会内)
✉ jicadpd-desk-yamanashiken@jica.go.jp



JICA山梨デスクHP

<https://www.jica.go.jp/yokohama/office/suishinin.html>



JICA山梨デスクFacebook

<https://www.facebook.com/JICAyamanashi/>

JICA海外協力隊HP
<https://www.jica.go.jp/volunteer/>



けんない ゆいひつ しよくぎょうしょうかいゆうりょうじぎょうしゃ
県内唯一の職業紹介優良事業者です。
しごと そうだんわりよう けんないざいじゅう がいこく かた
お仕事相談無料です。県内在住の外国の方、
お気軽にご連絡ください!

LINE公式アカウントでも受付中



株式会社 アルビス
☎0120-053-052

〒409-3822 中央市下三條550 やまなし転職・就職ナビ



1903001(01)



やまなしけんないがい
山梨県内外で“おしごと”を紹介します
とうろくは いつでも簡単にできます
English, Portugueseも対応できます



Trend Co., Ltd.
株式会社トレンド

中巨摩郡昭和町河東中島1151-7
☎0120-972-061
<http://www.trendco.biz>
【派23-301642 23-ユ-301187】



ビジネスサポート行政書士事務所

ビザ VISAのことなら何でも相談ください
ビザ更新・外国人雇用・国際結婚・永住・帰化
技能実習生受入・有料人材紹介
特定技能登録支援機関



お問合わせ
はコチラ

中巨摩郡昭和町清水新居1666
TEL 055-233-0211



あなたに合ったお仕事紹介します!
日本語が少し分かれば働けます。
株式会社ネクストエイジ ☎055-275-3216



【お仕事たくさんあります!】
英語・ポルトガル語・スペイン語
ベトナム語・タガログ語

つうやく
通訳
います

〈働く〉を新しく。〈未来〉をアシスト。
アシスト エンジニアリング
<https://www.assisteng.co.jp>

(株)アシストエンジニアリング
〒409-3841 山梨県中央市布施 2106-1
☎0120-713-809



お問合わせ
はこちらから

VISA・在留資格
オンラインでも
相談できます!

KAGAMI
加々美行政書士事務所



「やさしい日本語」セミナー オンライン (Zoom)

山梨には、22,000人以上の外国人住民の皆さんが私たちとともに暮らしており、その出身国や地域は110を超えます。言語や文化が多様化するなかで、いま、だれにでも伝わりやすい「やさしい日本語」が注目されています。このセミナーでは「学校現場」と「窓口対応」の2つのテーマで「やさしい日本語」を学びます。

「学校現場」編

オンライン (Zoom)

外国人児童・生徒の置かれている状況を学びながら、学校現場で活用できるようワークを行います。

日時 令和7年2月7日 (金)
15:30～17:00

講師 聖心女子大学教授 岩田一成さん

対象 教職員、学校関係者、
外国籍児童・生徒に関わる人など。



チラシ ▶

申し込み ▶



「窓口対応」編

オンライン (Zoom)

山梨県内の外国人の状況や「やさしい日本語」の意義を学びながら、外国人住民への窓口対応で活用できるようワークを行います。

日時 令和7年2月21日 (金)
15:30～17:00

講師 NPO法人国際活動市民中心 (CINGA)
コーディネーター 新居みどりさん

対象 自治体職員、外国人住民への窓口対応
に関わる人など。

異文化理解講座

「Language and Culture」

Highlighting both similarities and differences in culture through language games, storytelling, and proverbs.

両日同じ内容の講座です。ご都合がいい日程をお選びください。

講師 エドワード ハルバーソンさん (カナダ出身)

場所 県立国際交流・多文化共生センター
研修室 (びゅあ総合内 甲府市朝気1-2-2)

対象 一般 (この講座はすべて英語で行います)

定員 各回12名程度

受講料 無料

①令和7年2月2日 (日) ▶
10:00～11:30

②令和7年3月2日 (日) ▶
10:00～11:30



がいくじん そうだんしえん やまなし外国人相談支援センター

Yamanashi Consultation and Support Center for Foreign Residents

外国人の皆さんからのさまざまな相談を受け付けています。
日本語がわからなくても大丈夫です。困ったら電話してください。
相談は無料です。

受付：火曜日から土曜日 9:00～17:00 (祝日を除く)

場所：国際交流・多文化共生センター

TEL：055-222-3390



がいくじん むりょうほうりつそうだん よやくせい 外国人のための無料法律相談 (予約制)

Free Legal Consultation for Foreign Residents

弁護士が対応します。

日時：毎月第1水曜日 18:30～21:00

毎月第3土曜日 13:00～16:00

言語：英語 ポルトガル語 中国語 韓国語ほか

内容：不当解雇・労災、税金、年金、保険、医療、出入国、結婚など

場所：国際交流・多文化共生センター TEL：055-222-3390



やまなしけんこくさいこうりゅう たぶんかきょうせい 山梨県国際交流・多文化共生ボランティア人材バンク

Volunteer Bank

通訳や翻訳、外国文化紹介、災害時外国人支援など、人材バンクに登録いただける方を募集しています。また、県や市町村、公的機関などからの依頼に応じて、紹介を行っています。



やまなしけんこくさいこうりゅうきょうかい 山梨県国際交流協会 (YIA) 最新情報

SNS



やまなしけんこくさいこうりゅうきょうかい 山梨県国際交流協会 (YIA) 会員募集中!

YIAの活動を支援していただくために、会員を募集しています。

年会費 個人2,000円 団体5,000円

(会員期間：入会日から1年間)

会員特典

- YIA主催の講座やセミナーほかイベントの案内をお送りします。
- 機関紙「YIA Newsletter」(年2回)をお送りします。

こうざい やまなしけんこくさいこうりゅうきょうかい (公財) 山梨県国際交流協会の ホームページが新しくなりました!

災害時における緊急情報および、当協会の概要や自主事業はこちらでご覧いただけます。



けんりつこくさいこうりゅう たぶんかきょうせい 県立国際交流・多文化共生センター ホームページ

国際交流・国際協力・多文化共生の各種事業に関する情報はこちらからご確認ください。



編集後記

暦の上では立春も過ぎ、夕暮れも少しずつ遅くなり、春が近づいているのが実感できるようになってきました。甲府盆地に春を告げる厄除地蔵尊祭りも間もなくです。この春で国際交流協会が朝氣に移転して丸2年になります。パスポートセンター目当ての人が間違えて訪ねてくることもなくなりました。国際交流と多文化共生の拠点として皆様のお役に立てるよう、より一層励んでいきたいと思ひます。 内藤

YIA Newsletter 2025年 春号

編集/発行 公益財団法人 山梨県国際交流協会

〒400-0862 山梨県甲府市朝気1-2-2

TEL 055-228-5419 FAX 055-228-5473 受付時間 8:30～17:15

休館日 毎週月曜日 (祝祭日を除く) および祝祭日の翌日、年末年始 (12/29～1/3)

Email: webmaster@yia.or.jp